

既存建物を再利用した設備更新 南陽工場設備更新事業

名古屋市のごみ処理能力の5割を担っている南陽工場の稼働を令和2年3月に停止させ、環境負荷の低減と安定的・効率的なごみ処理体制の確保のため、老朽化した設備の更新を進めている。なお、本事業は周辺の環境にどのような影響を与えるかを事前に調査、予測及び評価するとともに、その結果を公表している。

設備規模

(焼却設備) 1,500トン/日



(焼却設備) 560トン/日

(破碎設備) 100トン/日

※設備規模を縮小・すべての設備を更新

※破碎設備を新設

建屋

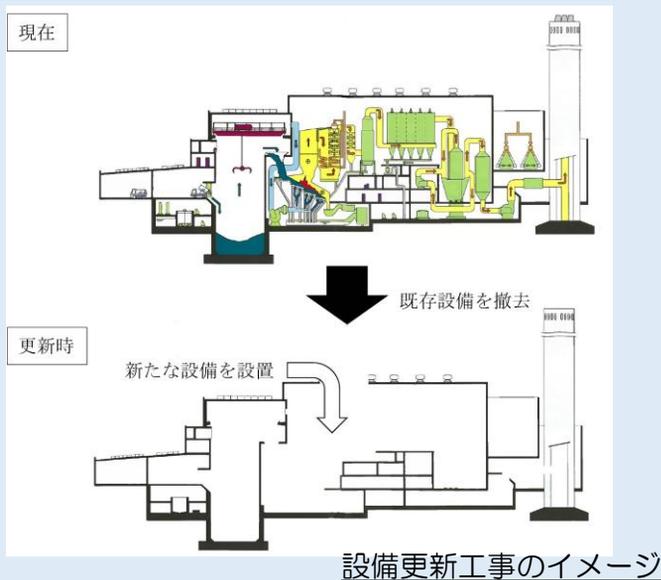
工場棟、管理棟



工場棟 (既存)

管理棟 (既存)

破碎棟 (新築)



所在地 : 名古屋市港区

敷地面積 : 約68,000㎡

工期 : 令和3年3月9日～令和5年6月30日

(設備解体工事)

令和3年12月8日～令和9年3月1日

(設備更新工事)

<建設作業時等の環境配慮>

粉じん、騒音等の抑制

既存設備の解体作業は、可能な限り建屋内で行うことで粉じん、騒音、振動等の発生を抑制する。

排水再利用

ダイオキシン類除却作業時の洗浄水などの排水は、集水し、適切な排水処理装置で処理した後に、洗浄水として再使用する。

<施設使用時等の環境配慮>

エネルギー消費量の削減

高効率照明等の省エネルギーシステムの採用を検討し、エネルギー消費量の削減を図る。

ごみ焼却の余熱を最大限に利用して発電を行うことにより、工場の稼働に必要な電力をまかなう。余剰電力は売却する。また、工場内の給湯や空調等にも利用する。